

UNISEC/UNISON 衛星ワーキンググループでは2014年12月6日(土)に衛星情報共有の取り組みとして第9回の発表会を実施した。以下に、本発表会の実施結果を報告する。

1. 目的

1.1. 本取り組みの目的

UNISEC衛星団体に技術情報を共有し以下の効果を狙う。

- Ⅰ 各団体での開発活動の促進
- Ⅰ 将来的にUNISECとして、加盟団体が協力し一つのことを行う基盤作り

1.2. 本発表会の目的

- Ⅰ 口頭での発表による正確かつ効率的な情報共有の実施
- Ⅰ 発表者が発表と質疑応答を通じたその場でフィードバックを得られる機会の提供

2. 開催日時・開催場所

発表会の開催日時および概要を表 1にまとめる。

表 1 発表会概要

日時	2014年12月6日(土) 10:00-15:00
場所	大阪府立大学
発表内容	発表会「通信」3大学 (東工大、府立大、筑波大)
参加者数	65 名
参加団体数	20 団体

3. 当日の流れ

3.1. タイムテーブル

当日は表 2に示すタイムテーブルを設定し運営を行った。

実際の発表会も概ねこのスケジュールに沿う形で進行した。

表 2 タイムテーブル

UNISEC 衛星WG 情報共有の取組み 第9回発表会 タイムテーブル

Last Update 2014.12.06 [SAT]

実施日時	2013/12/06 [Sat]	14:00 - 16:30	※ 13:30 受付開始
実施場所	大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス C1棟学術交流会館 多目的ホール		
発表テーマ	通信系		

No.	開始	発表終了	終了	所要時間	内容	担当者
	14:00	-	14:05	0:05	諸注意 (誓約書の提出・ アンケート説明等)	[運 営] 保田 敦司 (筑波大)
	14:05	-	14:30	0:25	衛星WG 情報共有の取組みについて	[運 営] 嶋津 龍弥 (筑波大)
1	14:30	14:45	14:55	0:25	第1回相談会 報告	[筑波大] 永田 晃大
2	14:55	15:10	15:20	0:25	複数地上局を用いた超小型衛星用自動運用システムの開発	[東工大] 太田 佳
	15:20	-	15:30	0:10	休憩	-
3	15:30	15:45	15:55	0:25	OPUSAT通信系システムの紹介2	[府 大] 仲 智彦
4	15:55	16:10	16:20	0:25	パッチアンテナの開発と展望	[筑波大] 小山 裕貴
	16:20	-	16:25	0:05	アンケート記入/諸連絡	-
	16:25	-	16:30	0:05	写真撮影	-
	-	-	16:30	-	発表会終了	-

3.2. 発表会内容

今回の衛星WG情報共有発表会は大阪府立大学のWS中に2時間半の時間を使って実施しました。

内容としては、まずはじめに衛星WG代表の筑波大の嶋津から本取組みに関する説明を行ない、その後衛星WGの運営メンバーである筑波大の永田が、最近、衛星WGの取組みとして行なっている「相談会」についての説明を行なった。その後、本発表会のメインである人工衛星の通信に関する発表を下記に示す、3大学の方々にして頂いた。

- ・ 東京工業大学
 - ・ 大阪府立大学
 - ・ 筑波大学

松永研究室 太田さん

小型宇宙機システム研究センター 仲さん

「結」プロジェクト 小山さん





今回の衛星WG情報共有発表会も貴重なお話を沢山聞くことができ、大変有意義な時間を過ごすことができた。今後も、大学衛星の成功率や、技術力の更なる向上を目指して、このような情報共有の取り組みを行っていく予定である。

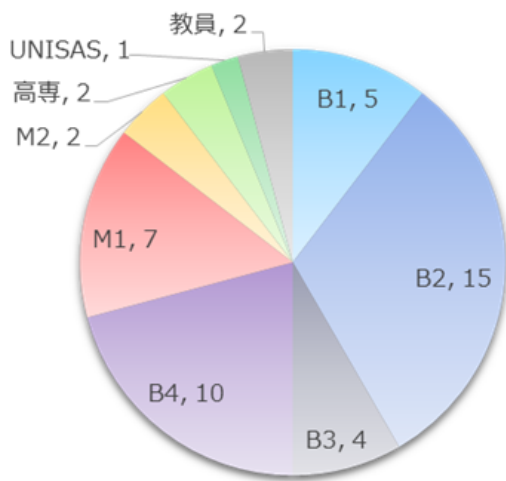


4. アンケート集計結果

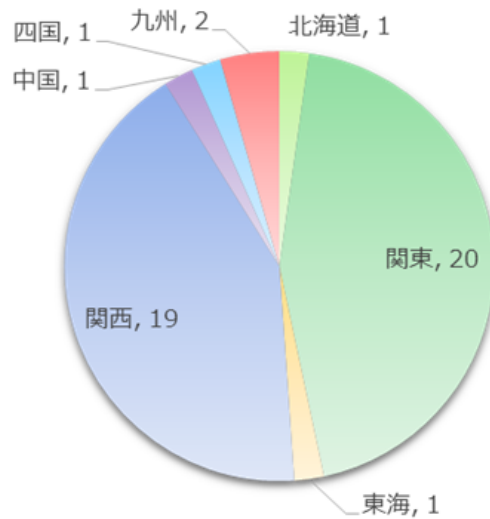
当日行ったアンケートのうち、発表会全体に関する項目の集計結果を以下にまとめる。

4.1. 今回の発表会について

今回の衛星WG発表会では65名の方に参加していただいた。以下に参加者の学年別と地域別の分布を示す。この図から分かる通り、学年別ではB1からUNISASの方々まで幅広い層に参加して頂いているのがわかる。また、地域別では、開催地が大阪府立大学であったこともあり、関東と関西が半分半分くらいとなっている。



学年別



地域別

4.2. 発表会に対する意見

以下に、アンケートより得られた発表会全体に関する意見をまとめる。

- + 発表時間は丁度良い .
- + 学部1年生にはついていくのは難しい .
- + 開発フェーズ毎に分かれた方がピンポイントでほしい情報が得られるのでは？
- + 専門的な発表になる程有益な情報を得られなくなるのでは？
(担当系が異なる人もいる為)
- + 質疑が少ない .
- + はじめのWGについての説明が長いように感じた .
- + 「各団体の活動促進」につながっているのか疑問 .
- + あらかじめ発表資料を送ってほしい .

これらの意見を活かして、今後の発表会運営や新たな企画に活かしていく予定である。さらに、この衛星WG情報共有の今後の取り組みに対しても出た意見を図に示す。

- + 少人数でのグループディスカッション
- + 合宿形式のコンペ
- + 発表会時にフリートーク時間を設定
- + 先生や企業の方をお招きしての勉強会・講習会

発表会以外で
実施してほしい
イベント

衛星WGや
この取り組みに
今後求めること

- + wikiコンテンツの充実化
 - > 開発が終わった衛星の失敗例や教訓など
- + 掲示板等, いつでも情報交換できる場の提供
- + DB上にて実践的に利用出来る知識(データを共有)
 - > 回路図, CADデータ, etc.
- + 遠隔地のメンバーが参加し易い体制づくり
- + 衛星プロジェクトに携わっている先生・専門家から
アドバイス・注意点等を聞ける機会を設けることは出来ないか?

- + 情報を共有するモチベーションは誰にあるのか?
- + 会場が薄暗い.
- + 机がない席で話し合うのは大変.
- + 質疑応答が盛んでないのがさびしいように感じる

その他

5. 総括

2014年12月6日に本取り組み9回目となる発表会を実施した。今回は大阪府立大学で開催されていた UNISEC WS中で、短い時間での開催となったが、人工衛星の通信をテーマとして、3団体に設計や製作、運用に関する素晴らしい発表をしていただいた。今後もよりよい情報共有を実施していくために、運営メンバーを中心に引き続き活動を行なっていく。

謝辞

本発表会の開催にあたっては会場の確保から発表会への参加まで様々な場面で多くの先生方にご協力を頂きました。ここに感謝致します。